報道発表

平成３１年２月５日
独立行政法人 教職員支援機構

第2回「NITS（ニッツ）大賞」
宮城県石巻市立万石浦中学校の取組が大賞を受賞

～教員の資質向上や課題解決を目指して、事例の共有へ～

独立行政法人教職員支援機構（略称:NITS・ﾆｯﾂ）は、昨年度から表彰事業「NITS 大賞」をスタートし、第 2 回となる今年度の大賞は、宮城県石巻市立万石浦（まんごくうら）中学校（発表者：小山晴美教諭）が受賞しました。

「NITS 大賞」とは、教員の養成・採用・研修の一体的改革を担う中核拠点としてさまざまな活動を行う NITS が、教員の資質向上や教育現場の課題解決を目指して、教員や学校などが実践した活動募集し、表彰・公開する好例共有事業です。第 2 回は 86 点の応募があり、優秀賞 10 点が選出され、2 月 2 日、東京・丸の内で行われた発表会（プレゼンテーション）で審査の結果、大賞に万石浦中学校が選ばれました。

受賞した活動は、NITS で研修を受けた小山晴美教諭が実践した「チーム万中グッジョブ作戦」です。「生徒たちのどんな力を伸ばし、何が課題なのかを把握する指針が不明確」という課題に対し、「目指す生徒像」を共通の目標として設定。目標達成に必要な教育活動に厳選し、チームの多様なアイディアを反映させながら、計画・立案、教育実践の向上に取り組みました。同時に、生徒のよい言動を教員や生徒同士が「グッジョブカード」を用いて称賛する活動などを 3 年間にわたって行い、教員の資質能力の向上、生徒の自己有用感の向上につなげていきました。

大賞を受賞した宮城県石巻市立万石浦中学校の小山晴美教諭（左）と当機構の髙岡信也理事長

審査委員からは、「他の学校でも実践できる汎用性の高さに加え、目指す生徒像を明確化することで教員のチーム活動による教育実践の質の向上や業務のスリム化につながり、それらがすべて生徒の成長に返ってくる仕組みになっている」と高く評価されました。

今後、発表動画と、応募のあった全エントリーシートを機構ウェブサイトに掲載するとともに優秀賞受賞作品をまとめた事例冊子を発行する予定（３月下旬）。

＜全国から参加した教員の感想＞

・１人５分で、たくさんの取組が聞けるスタイルがとてもよかった。
・多種多様な視点があり、多くのヒントがえられた。
・やってみたくなる実践が多かった。
・他校でがんばっている先生の姿を見られたことは、今後自分が取り組んでいく姿をイメージできる貴重な機会となった
・受賞者と直接意見を交流できる機会はとても貴重だった。生の声が聞けた。
・前年度大賞の話を聞き、研修成果を形にするいい機会だと思った。来年はぜひ応募したい。

＜第 2 回 NITS 大賞受賞一覧＞

〇優秀賞 10 点

実践活動名	学校名など	評価ポイント
カリマネ推進の取組 新潟プラン 28による学校改善	新潟県立教育センター 山碕　孝幸	「カリキュラム・マネジメント」の普及を小・中・高等学校の学校種全体を視野に収め、全体的に進めようとしている。
「チーム学校」の実現へ 学校マネジメント実施へのサポート	熊本県立教育センター 福山　尚美	学校マネジメント改革の3つの視点は学校が抱える今日的課題の解決に効果的であり、具体化に向けた取組は他の参考となる。
主体的な中核教員の育成 学校組織マネジメント演習の体系化	いわき市総合教育センター 坂本　義仁	組織マネジメントの視点から自校を分析するなど、学校経営ビジョン、自校の学力向上ブランドデザインについて深く研究されている。
教育計画作成の工夫 ～学校評価の改善を通して～	宮城県栗原市立志波姫中学校 佐々木留理子	学校評価の手順の見直しをしっかりと行っている。学校評価の全体会にワークショップを取り入れるなど、効率的な工夫がある。
チーム万中グッジョブ作戦 目指す生徒像に迫るPBISの活用	宮城県石巻市立万石浦中学校 小山　晴美	目指す生徒像を共有し、すべての活動の結果をその事実に求めている。全国の学校現場が取り組める研究である。
レンタル Teacher 制 小中連携を強化する授業研修	和歌山県海南市立 東海南中学校	小中一貫教育の推進を小中教師による授業研修に着眼し、その進め方を開発しようとしている。
校内若手教員研修 各教員の個の育成と学校組織の強化	学校法人明昭学園 岩倉高等学校	若手教員の成長を促す取り組みであり、主として校内（自前）で行っている。全国的に若手教員が増えているなかで学ぶ部分が多い。
働き方改革は生き方改革 業務効率を高め教育の質を上げ隊	京都市立葵小学校	学校の組織力向上と人材育成という視点で校内研修や学年会を見直したこと、教職大学院や教育センターを活用したことを評価。
地域連携と授業改善 ～授業 UD を共通のキーワードとして	東京都立府中けやきの森学園	特別支援学校と一般校との連携を「地域のコミュニティ」の視点からwin・winの関係を構築する中で展開している。継続性も評価。
遠隔授業で複式指導を充実 小規模校で高め合う徳之島型モデル	鹿児島県徳之島町立 母間小学校	小規模学校が増えていく中で複式学級の制約を打ち破る可能性を秘めている取り組み。

〇審査員特別賞 5 点

誰でもすぐにできる点がある、先進的な工夫があるといった秀逸なアイディアが部分的に含まれているなど、審査委員の中で、印象に残ったものに贈られます。

実践活動名	学校名など	評価ポイント
算数科における3つの学び ～協働で考える授業研究の在り方～	鹿児島県鹿屋市立 西原小学校	動画の活用、ワールドカフェ方式で授業研究など地に足のついた活動。

変えよう三体小スタイル！ つなげる。広げる業務のかたち	鹿児島県霧島市立 三体小学校	多忙化改善に向け、全員で業務の洗い出しと改善策の協議を行った。
学校業務見える化作戦 PBL を軸にした学校改善の実行	島根県立隠岐島前高等学校	職員会議を対話の場にする工夫、業務の見える化、チームリーダーを孤立化させないシステムなど先進的。
参画意識の向上を目指して ～教科の枠を超えた授業研究を通して	守谷市立守谷中学校	視覚カリキュラムの取り組みが興味深い。教科の枠を超えた授業研究の在り方を求めている。
ICT 推進リーダーの養成 教職大学院と教育センターとの連携	大阪教育大学大学院連合教職実践研究科	大学の授業を県教委の研修として位置づけ、大学の単位として読み替える。教育行政の有機的連携を期待。

＜第 2 回 NITS 大賞の応募要項＞

1　募集の対象

部門	実践活動の内容	エントリー資格
研修成果活用部門	研修で習得した知識やスキルを活用して、学校の課題を改善した実践活動	当機構が主催する研修の研修修了者
多忙化改善部門	学校をとりまくステークホルダーの理解を得て、教職員の多忙化を改善した等の実践活動	幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校
校内研修部門	学校の課題の解決や教職員の資質能力向上を目指して学校全体で計画的・組織的に取り組んだ実践活動	
先導的プログラム実践部門	先進的かつ斬新な研修プログラムを実践した活動	教職大学院

2　対象となる活動の期間

平成 29 年 12 月から平成 30 年 11 月までに成果があった活動（複数年にわたる活動も含む）

3　表彰

・大賞　　：1 点（優秀賞 10 点の中から、大賞を 1 点選出）
・優秀賞　　：10 点（部門横断で優秀賞を 10 点選出）
・審査委員特別賞：5 点（各部門から 1 点を選出）

4　審査の観点

１課題の重要性　２汎用性　３先進性　４独創性　５効果・影響度

5　大賞選出委員

審査委員長	国士舘大学	教授	北神正行
審査委員	東北大学大学院教育学研究科	准教授	青木栄一
	国立教育政策研究所	次長	高口努
	読売新聞社	教育部部長	富所浩介
	玉川大学	教授	森山賢一

＜本件に関するお問い合わせ先＞
独立行政法人教職員支援機構（NITS・ニッツ）
次世代教育推進センター調査企画課　内場 裕子
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-2-10 羽衣ビル５階
TEL: 03-6811-0752
FAX: 03-6811-0751　　mail: huchiba@nits.go.jp

当機構は教員の資質能力の向上をミッションとし、教員の養成・採用・研修の一体的改革を担う中核拠点としてさまざまな活動を行っています。